

研究奨励賞選考細則

(趣旨)

第1条 この規程は、一般社団法人日本実験動物技術者協会表彰規程第4条に基づき、研究奨励賞の選考に関し、必要な事項を定める。

(選考委員会)

第2条 理事会は、研究奨励賞を選考するために編集部長を長とする研究奨励賞選考委員会（以下、「選考委員会」という。）を組織する。

- 2 委員長は、必要に応じ、選考委員会を招集することができる。
- 3 選考委員会は、事業年度開始毎に活動を開始し、選考結果の理事会への報告をもって当該事業年度の活動を終了する。

(委員)

第3条 選考委員会の委員の員数は、編集部員及び個人会員並びに個人会員以外の学識経験者の中から委員長を含めた若干名とし、特に任期は定めない。

- 2 編集部員は委員を併任する。
- 3 委員長は、毎事業年度開始時に専門性や地域性、実験動物技術者としての職務経験のバランスを考慮に委員を選定することとする。
- 4 理事長は、委員長が選定した個人会員を、理事会の議を経て委員として委嘱する。
- 5 理事長は、選考している期間中に委員の欠員が生じた場合に、補充の委員を理事会の議を経ずに委嘱できる。
- 6 委員長は、委員を交代させる場合、少なくとも3分の1以上の委員を留任させ、選考委員会の継続性を確保するように努めること。
- 7 委員には、委員の3分の1を超えない範囲で個人会員以外の学識経験者を加えることができる。

(副委員長)

第4条 委員長は、選考委員会に関する職務を補佐させるために委員の中から1名を副委員長に指名することができる。

(選考)

第5条 選考委員会は、研究奨励賞として推薦された原著論文あるいは短報から研究奨励賞の目的を勘案し、実験動物技術への新規性・独創性・発展性の観点から選考するものとする。

- 2 選考された論文は複数も可とする。
- 3 選考委員会は、その他研究奨励賞の選考に必要な基準を定めることができる。

(推薦の手順)

第6条 研究奨励賞は、公募にて推薦を依頼し、この推薦を基に選考委員会で選考する。

- 2 前項において推薦された論文が無い場合は、選考委員会は自ら論文を推薦し選考

することができる。

3 公募による推薦は以下の手順による。

- (1) 推薦の公示は、表彰予定の事業年度の前年度に最初に発行される機関誌または本協会のホームページで行う。
- (2) 推薦は、自薦他薦を問わない。
- (3) 他薦の場合には、推薦者は個人会員に限る。
- (4) 推薦者が推薦できる論文の推薦数は、自薦他薦を問わず、一事業年度毎に一編とし、複数推薦した場合にはいずれの推薦も無効として取り扱う。
- (5) 推薦者は応募趣意書の書式を事務局へ提出する。
- (6) 事務局は期限までに提出された応募趣意書を選考委員会に送付する。
- (7) 選考委員会は応募趣意書または自ら推薦した論文の中から研究奨励賞を選考し、その結果を理事会に報告して活動を終了する。

(利益相反)

第7条 選考委員会の委員が次のいずれかに該当する場合には、選考に加わることはできない。

- (1) 選考対象となった原著論文及び短報の著者である場合
- (2) 審議の公平さに疑念を生じさせる利害関係・利益相反があると委員長が判断した場合

(報告)

第8条 委員長は、選考結果を理事会に報告する場合には、選出趣意書を添付することとする。

(改廃)

第9条 この細則の改廃は、理事会の議決による。

附 則

- 1 この細則は平成30年10月7日より施行する。
- 2 この細則は令和2年2月15日一部改正
- 3 研究奨励賞の推薦に関する申し合わせを廃止し、令和4年4月19日に一部改正する。

書式 応募趣意書

一般社団法人日本実験動物技術者協会 研究奨励賞 応募趣意書

一般社団法人日本実験動物技術者協会表彰規程および研究奨励賞の推薦に関する申し合わせに基づき、下記の通り研究奨励賞に応募いたします。

應募者
氏 名 _____ 印

所属先名称 _____

連絡先住所

電話番号 _____ e-mail _____

掲載機関誌「実験動物技術」 年 Vol. No.

筆頭著者氏名 _____

所属 _____

連 絡 先 _____

筆頭著者協会入会年 _____ 西暦 _____ 年 _____

原著論文・短報タイトル

応募趣意書提出年月日 _____ 年 _____ 月 _____ 日

推薦理由

送付先 〒164-0003 東京都中野区東中野 4-27-37
株式会社アドスリー内
一般社団法人 日本実験動物技術者協会事務局
TEL・FAX 03-3363-7223
e-mail: jaeat@adthree.com

事務局受付 年 月 日